

第16回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

報告書資料 一般-78

学校名・団体名	東大阪市立長瀬北小学校
HPアドレス	<a href="http://www.city.higashiosaka.lg.jp/school/nagasekita-e/">http://www.city.higashiosaka.lg.jp/school/nagasekita-e/</a>
コース	学校支援
活動・研究テーマ	自分の生き方を考えよう！
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>『自らの生き方をつくる子』の実現に向けて、「集団づくり」を基盤にペア・グループ学習を中心とした「学力保障」と自分の生き方を考える「人権・部落問題学習」にとりくむことが最重要課題であると全教職員で共通理解をした。そして、「豊かな出あいとつながりを子どもたちに」をキーワードに、すべての学年で、多くの人との出あいを通して、自分の生き方を考えるとりくみを創造していこうと考えている。また、すべての子どもたちの学びを保障し、どの子も学び続ける力をつけるために、ペア・グループ学習を活用した授業づくりの研究を進めていく。</p>	

### ◎本校の子どもたちが出あった人たち

全校児童：観劇「中国獅子舞・中国雑技」(中国民族芸術団のみなさん) 11/10

6年：ヒロシマ修学旅行 10/12,13 (森本範雄さん 朴南珠さん 豊永恵三郎さん)・将来の夢の学習(南條賢太さん、消防署、OIC、OFA、ブルス、源氏が丘幼稚園) 2/20~2/24

5年：水産技術センター7/19・下荘漁港 7/20・コリアタウン(朴さん) 9/21・ソンセンニム(呉優美さん) 10月  
地域の工場の人たち 1/24・1/27

4年：東大阪市民環境会議(岸さん) 6/13・警察官 10/12・消防士 10/14・ソンセンニム(呉優美さん) 10/18・在日外国人教育(保護者) 10/21・獣医(寺田さん) 11/15・環境事業所 12/5・障害者作業所パオ 12/13(菊地園子さん 山本恵さん)・「川のとりくみ」(築留土地改良区) 6/13,10/7,11/4・ものづくり教室(日本化線) 11/4

3年：コリアタウン(朴さん) 9/21・ソンセンニム(呉優美さん) 10/18・リコーダー講習会(高橋さん) 11/1・近鉄長瀬駅、病院、神社、源氏が丘幼稚園、消防署 11/11~11/16・青少年センター(杉本さん・井藤さん) 11/24・人権文化センター(高橋さん) 12/15・ソウル教育大学実習生 1/31~2/8・スーパーサンコー2/27

2年：障害者作業所パオ(菊地園子さん 山本恵さん) 6/21・長瀬南商店街 6/30・生いたち学習(保護者) 10/7

1年：ソンセンニム(呉優美さん) 7/5・障害者作業所パオ(菊地園子さん 山本恵さん) 7/15・多文化共生の学習(保護者\*料理づくり) 11/18

すべての学年で、たくさんの人との出会いからその人の生きざまにふれ、生き方に学ぶとりくみを行った。特に高学年では、「仕事」にこだわり、さまざまな人との出会いの場を設定し、その仕事にたいする思いを聴くなかで子どもたちは、「仕事をすることとはどういうことなのか」「自分は将来、どんな職業に就きたいのか」「これからどんな生き方をしていきたいのか」などについて考えることができた。

5年生は、「食に関わる仕事」として、米作りを行ったり、水産技術センターの職員からの聴きとり、下荘漁港の漁師さんからの聴きとりを行ったりと、「ほんものとの出会い」を大切にしてきた。また、「ものをつくる仕事」では、「東大阪市は中小企業の町」ということで、地域にある工場へ出向き、働いている方から仕事への思いややりがい、苦勞していることなどについて聴きとりを行った。これらとともに食肉産業や清掃の仕事の学習をするなかで、子どもたちは「どの仕事もいい仕事。わるい仕事なんてない」「仕事によって差別されるのはおかしい」など、仕事に対する社会の価値観のおかしさに気づくことができた。そして、男女共生教育の観点から男女雇用機会均等法の学習とつなげた。そのなかで子どもたちは、社会の不合理なことにたいして、みんなで立ち上がることで社会を変えていくことができるということを学んだ。「仕事」の学習からさまざまな人権課題とつなげて考えることができた。

### ◎教職員研修

・「授業づくり」(学習院大学 佐藤学さん)(かわち学座 南光弘さん)  
「ペア・グループ学習を活用した授業づくり~学びでつながる集団づくり~」を研究主題として、ペア・グループ学習を通して「学びあう関係」をつくることと、「聴く力」と「伝えあう力」の育成をめざし、学校全体で授業研究を進めてきた。

右の表のように、各学年2本(教科・人権・部落問題学習)、年間12本の研究授業を行った。教科の学習では、子どもたちが協同的に学べるための課題設定の研究と学びの中での子どもの姿の検証に重点を置いた。

子どもたちの学びの姿は、1つの課題にペアやグループの仲間と頭を寄せあい考えあう。わからないときは「教えて」と訊きあい、困っている友だちにやさしく寄り添う。ペア・グループで学びあうなかで、仲間とのつながりが確かなものとなり、しっかり聴きあい、伝えあうことができていった。

毎日の学習の中で授業づくりをしていく必要があるので、かわち学座代表の南光弘さんに本校のスーパーバイザーとして、日ごろからすべての学級に入り込み、教職員の授業力向上のためにさまざまなアドバイスをしていただいた。そして、12月17日の公開授業研究会では、

学習院大学教授の佐藤学さんを講師に招いて行った。全クラスの授業公開と1クラスの授業提案を行うなかで佐藤学さんから、とりわけ「ジャンプの課題」をどのように設定していくか、子どもたちの学びの姿からみえてきた課題などをご示唆いただいた。人権・部落問題学習の研究授業を全学年が行うことで、低学年で「自尊感情を高める・人権感覚を育む」、中学年で「地域のことを知る・人権感覚を高める」、高学年で「自分の生き方をつくる」という学校全体のとりくみのつながりが明確になり、教職員にとって学びの多い授業研究になった。

#### ・全体学習会

教職員の学びの場として全体学習会を年間8回実施した。8回実施した学習会のなかで「これまでをふりかえって(集団づくり・授業づくり)」の学習会では、本校の先輩教職員から集団づくりや授業づくりでどのようなことを大切にしてきたのかをお話いただいたことで、毎日の子どもとのかかわりや授業についてふりかえる教職員が多くいた。「今までをふりかえって(障害児教育)」では、当事者の方から話を聴かせていただいた。「障害とはなにか?」など、自分自身の人権感覚を磨く機会となった。

### ◎研究の成果を発信

8月23,24日に開催された大阪府人権教育研究協議会夏季研で、「My Dream My Life~つなげる つながる わたしたち~」と題して、本校教職員が昨年度の6年生のとりくみについて報告した。

その他にも、本市以外の研究会の実践交流分科会に助言として参加し、本校のとりくみを伝えながら、他校のとりくみについて学んできたことをフィードバックし、教職員どうしの学びあいにつなげている。

### ◎各学年の研究授業

#### <教科>

- 1年 国語「かいがら」10/21
- 2年 算数「かけ算」9/7
- 3年 算数「1億までの数」9/26
- 4年 国語「オジイの海」6/28
- 5年 国語「島ひきおに」9/16
- 6年 国語「しばてん」12/17

#### <人権・部落問題学習>

- 1年「おうちのしごと」1/26
- 2年「生いたちの学習」11/2
- 3年「校区たんけん」11/30
- 4年「わかってくれるかな」10/26
- 5年「仕事の学習」2/28
- 6年「自分の生き方を考える」3/6